

## 三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科 6年 秋田優里菜

私は2023年3月20日から4月14日まで外科で実習をさせていただきました。

三沢病院の外科では、大学病院の実習で見ることがなかった領域の疾患や術式を見学し、幅広い外科を学びました。上部消化管や下部消化管、肝胆膵の疾患、さらに開腹手術、腹腔鏡補助下手術、ロボット支援下手術と、様々な手術がありとても新鮮でした。また、同じ疾患でも違う術式の手術を見る機会があり、それぞれの術式の意義を体感することができました。



先生方は手術を進めながらも要点の説明をしてくださり、教科書だけではわからない実際の手技の理解を深めることができました。

また、見学だけではなく手技の経験もさせていただきました。先生方に近くでしっかりとサポートしていただきながら、抜鉤やドレーンの抜去、埋没縫合、腹腔鏡カメラの操作などをしました。今まで見るだけであったことを自分の手でやることで、一歩医療に近づいた実感がわきました。さらに1年後、医師になることができた後には、これ以上のことを自分でやっていくと考えると、心が躍ると同時に恐れと責任の大きさを感じました。

その他、今までの実習とは異なり、三沢病院では、患者さんひとりひとりがどのような経過で病院を受診されて、治療し、退院されていくのかという医療の一連の流れを見させていただきました。救急で辛そうに受診されて、入院し治療して元気に帰っていかれる患者さんにはじめてお会いし、医療の真価を実感しました。

三沢病院での実習では、只々疾患の勉強をするのではなく、キャリアのお話や先生方の高尚なお話など、今後の人生のためになることも学ばせていただきました。これから医師となるためには、国家試験などやるべきことがたくさんありますが、医療の現場で学んだことをもとに実際に働くことを想定しながら、まずはしっかりと勉強を頑張ろうと思います。

松本先生、池永先生、澤野先生、神田先生、研修医の先生、更には内科や小児科、産婦人科などの他科の先生方、看護師の皆様、管理課の皆様、1ヶ月の間、多くのことを学ばせていただき誠にありがとうございました。ここで学んだことを次に生かし、周囲の人を笑顔にできるような医師になれるよう精進して参ります。

2023.3.20~2023.4.14